

# 町政の今を 問いたただす!



7議員が14項目の質問を行いました。

ページ	質問者	質問事項
8	井藤 満人 議員	・新型コロナウイルスに町独自の救済措置を
8～9	原 孝文 議員	・新型コロナ、国のまずさのなかでの町の対応は
		・消費税増税に伴うプレミアム付商品券事業の総括は
		・来年度、日高川の洪水対策の取り組みは
9～10	龍田 安廣 議員	・耐用年数の切れている建物や町有財産はどうしていくのか
10～11	小畑 貞夫 議員	・有田養鶏場の死骸と鶏糞の処理対策は
		・任期1年に向かう気持ちと今後の重点施策は
11～12	山本 啓司 議員	・新型コロナウイルス感染症対策の現況
		・外国人英語指導助手(A L T)の配置状況は
12	入口 誠 議員	・町の人口ビジョンは
		・森林環境譲与税の活用方策は
12～14	山本 喜平 議員	・有田養鶏の養鶏場の防災と衛生対策を早急に
		・地域包括ケアシステム構築の見通しは
		・子育て支援商品券交付事業を見直し、給食無償化に着手を

## 質問するうえで、こんな言葉は不適切

一般質問は、あくまでも質問ですので、要望やお願い、お礼の言葉を述べることは慎むべきとされています。

例えば、

- お分かりでしたら教えていただきたい。
- 説明をお願いします。
- 町長さん、課長さん。
- よく分かりました。ありがとうございました。
- 前向きな答弁、心からお礼申し上げます。
- 努力されるようお願いします。

なにげなく使う言葉にも、議員は注意しなければなりません。

A

# 1 新型コロナウイルスに町独自の救済措置を

財政的に問題があるが、考えていきたい



井藤満人議員

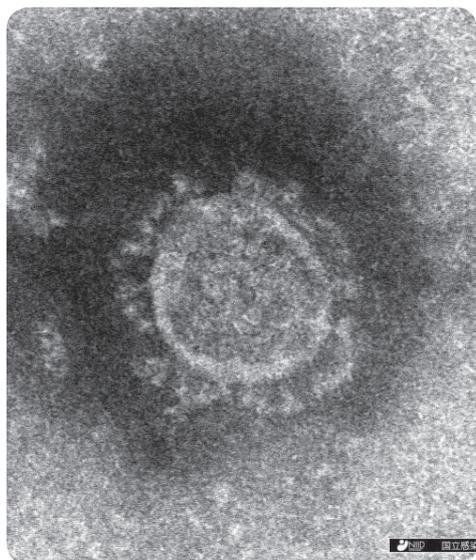
**問** 新型コロナウイルスの感染拡大により、町内小中学校で休校措置がとられているが、各学校での実施状況はどのような内容となっているか。

各学校の先生方や保護者からの要望事項について、教育委員会に出されているか。

学校の休校により給食が止まっているが、どのように考えているのか。給食材料を納入している業者の救済措置対策が

**答** 休校に伴い、子供達の居場所確保のため、学童保育クラブを朝から終日開設し、運営している。また、保護者の事情により一人

必要と考えるが、町として話し合いや、損害状況を把握する計画があるのか。町独自に救済措置をすべきである。休校に伴い、子供達の居場所確保のため、学童保育クラブを朝から終日開設し、運営している。また、保護者の事情により一人



新型コロナウイルス

# 1 新型コロナ、国のまずさのなかでの町の対応は

国の対策が中心だが、町もやれることをやっていく



原 孝文議員

**問** 上からの指示待ちでなく、町としてどういう調査や対策が必要かを早急に再検討し、対応すべきと考える。

一律休校は科学的根拠に基づいた対応が

あつてこそ、保護者の理解が得られる。町として判断根拠をはっきりさせるべきであり、再検討も必要ではないか。

休校に伴う影響を受ける業種とその労働者だけでなく、観光、飲食、サービス等の業種を対象に、損失・休業補償をするべきと考える。町として状況をどう把握し、どう対策をしていくのか。

とも協議して改善させてゆくべきでは。  
**答** 一律休校は県からの要請を受けたものであり、感染防止上、集団をさけるという過去からの経験の中で培われてきたものと思っ

# 2

## 消費税増税に伴うプレミアム付商品券事業の

### 総括は

様々な問題があつて全国的に低い利用率だ

検査や医療体制も県や近隣市町と連携を図り、対応していきたい。

**問** 7890万円の予算に対して、3640万円の活用で活用率が極めて低い。要因をどう考えるか。

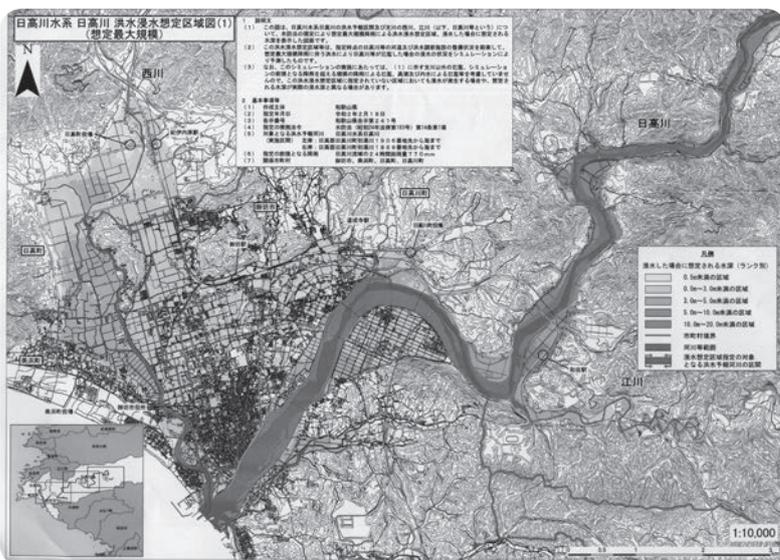
制度そのものの粗雑さ、手続きの複雑さ、利用範囲のせまさなどから、当初より予想されていたとおりの結果ではないか。増税のしわ寄せは、国民すべてが受けているが、その中でも影響が大きい層の家計状況に即したも

のではないか。政府が救済が必要と考えていた層の半分も救えていない。このままの終結でよいと考えるか。国へ意見を上げる必要があるのでは。  
**答** 地域の消費の支えには一定の効果があつたと考えるが、利用が伸びなかった要因については、手続きの複雑さがあつたことは否めない。

町として実施方法を色々考え提案し、承認を求めたが認められず、国の制度設計に従って事業を進めることしかできなかった。

制度創設当初から様々な問題が指摘されていた事業であり、低利用は全国的な傾向であると推察でき、今後公表される数値そのものが、この制度の評価として認知されるものと思う。

### 3 来年度、日高川の洪水対策の取り組みは ダム放流量に対応した浸水マップをつくり、配布する



県が作成した浸水マップ（川辺地区）

**問** 県において洪水時の浸水マップが完成していると聞く。町も当初予算に作成費用が組まれているが、内容と活用方法を示された

い。河川整備計画にある河床掘削の残区間の工事は、国の新規事業に適用できないのか。何

時おこなわれるのか。早期着工の要望を強めていく必要があるのでは。

樺山ダム湖の堆砂除去計画もあるようだが、具体的にどのような工事になるのか。その効果をどう考えているのか。

**答** 県の浸水マップ

は、千年に一回程度の大洪水を想定したものであるが、町策定のマップは、樺山ダムの千トン単位の放流変化で下流がどの程度浸水するかを示したもの。にしたいと考えている。地域の危険度を知ってもらうと共に、避難に役立ててほしい。マップは全戸へ配布予定だ。日高川河川整備計画にある河道掘削事業へ

は、残念ながら国の新規事業は適用できない。残区間の着工を県へ強く働きかけたい。樺山ダム湖の浚渫は、去年の台風10号で流入した土砂20万立米を災害復旧事業として実施するものだ。洪水調節容量全体では極めてわずかな量であるが、治水効果維持の上で大切な工事だ。

### 1 耐用年数の切れている建物や町有財産はどうしていくのか 廃校や老朽化で危険な施設は解体撤去する方向



龍田安廣議員

あるのか。

**問** 町有財産の土地、建物は全部でどれだけ

一部の土地は、不動産業者などへ競売をし、若者定住のための用地となっているが、他の物件についてはどうか。現在使われていない



旧船着中学校校舎

建物や耐用年数が切れているものが多くある。当初予算に旧保育所の解体が計上されているが、よく目立つ廃校となった学校関係の建物についてはどうしていくのか。

**答** 固定資産台帳の町名義の土地は、約8700筆で731万平方メートル、建物は約430棟である。

現在、未利用で今後

活用する予定のない土地で、住宅用地として活用がみこまれるものが、14件ある。和佐の宅地分譲地の販売状況等を見極め、民間への売払いを考えている。今後利用を見込めない廃校や老朽化が著しく、危険な施設については、計画的に解体撤去する方向で検討を進める。

# 1 有田養鶏場の死骸と鶏糞の処理対策は

関係機関とともに行政代執行も視野にいれて対策する



小畑貞夫議員

**問** 有田養鶏場が経営破綻して、町内鶏舎内に死骸が放置されて

いる。現在3月12日時点の鶏舎の状況はどうなっているのか。

鶏糞も山積みされ、発酵が進み、自然発火して地域周辺に煙と臭いが流れている。山間地にあるため、火災も心配される。今後は気温も上昇して、梅雨時にはハエ等の害虫の発生も心配される。行政として対応を検討、実施する必要

があると考ええる。本町として今後どのように対策を進めていくのか。

**答** 鶏舎については、弥谷地区では21棟の内、3棟に死骸と鶏糞がある。17棟には鶏糞が残されている。猪谷地区では、19棟の内16棟に死骸と鶏糞がある。3棟には鶏糞が残されている。いづれの箇所もウジとハエが発生している。

鶏糞の自然発火については、日高広域消防からも指導を行い、巡回している。

両地区の区長からも陳情が届いているが、有田養鶏自体は存続しており、勝手に施設内を消毒したり石灰をまくなどの行為はできない



猪谷の鶏舎の内部

い状況である。

今後は、県の関係機関とともに、行政

代執行も視野に入れて対策していく。

# 2 任期一年に向かう気持ちと今後の重点施策は

一番の目標は、町民が豊かに暮らせる町だ

**問** この3年間、少しずつ政策の成果も出てきたと感じるが、町長としてどう感じているのか。

令和2年度予算の中身をみても、一つ一つの町づくりが形になっていく町政は、町民に希望をもたらしている。

任期も後一年だが、この一年に向かう気持ちと今後の重点施策をどう考えているのか。

**答** 定住事業については、2年半で助成件数が50件、同居の子どもの数も95人いた。平成30年度の社会増減数が55人で、県下トップになった。

私の掲げた公約の一つに結果が出たことは嬉しく思っている。しかし、この制度だけで今後も若者定住が進むとも思っていない。民間力を活用しながら複合的に進めなければならぬ。

今、改めて選挙のときに掲げた5つの公約が3年間でどれだけできてきたのかと考えると、どの目標もこれで終わりという到達点はない。一番の目標は、町民の皆さんが豊かに暮らせる町だと思っ

**問** 新型コロナウイルス感染症は、世界的に拡大が続いている。町では、対策本部を組織して感染予防に尽力しているが、これまで実施されている感染拡大防止策や要請への



山本啓司議員

## 1 新型コロナウイルス感染症対策の現況

生活や経済への影響が懸念される

対応状況はどうか。

**答** 学校は、子どもたちの居場所として受け入れる他、担任等による家庭訪問や電話連絡で健康状態を確認するなど、連携を密にしている。課題を配布しており、未履修があれば、新年度対応することになっている。

学童保育は、3児童クラブとも、3月2日より朝8時から開所しており、支援員も確保できている。

介護サービスでは、施設での面会禁止や制限を設け、デイサービスや地域包括支援セ

ンター業務においては、検温・マスク・消毒などの衛生管理を徹底している。高齢者・障害者サービスにおいても同様であるが、不特定多数が対象のメニューは一部自粛している。

マスクや消毒液が入りできない状態が続いており、確保に努めている。

町有施設の利用制限は特段実施していないが、クラブなど団体の利用は自粛頂いている。この状態が長引くほど、生活・経済への影響が懸念される。

## 2 外国人英語指導助手 (ALT) の配置状況は

英語学習の充実を今後も図って行きたい

**問** 新年度から小学校5・6年生に英語が導入されるが、英語教

育は、国際理解を推進する上でも重要性を高く位置づけるべきだと

考える。

現在のALTの配置状況に関する評価と適正規模に関する認識を伺う。

**答** 英語学習の充実を図る中で、役割が増すALT2名で対応できるのか、ということであるが、当初より長期滞在の1名が交代予



ALTによる授業

定であったが、急きよもう一人も辞意を示した。新年度は、新人の方2名の配置を国の方に要請している。これを受け、少人数学級でのテレビ会議システムの活用も計画に入れている。

また、外国語活動指導員を新たに2名配置

し、ALTと指導員を重点に置いて、各校週1回の配置を目指したい。今年1年を見て、必要であれば1名の増員も考える。このほか、小学校に英語科の専科

教員配置も県に要望している。

今後も、小学校での英語学習の充実と、国際人育成のための英語学習の充実を図って行きたい。

## 1 町の人口ビジョンは 今後も減少を食い止める方策を考えていく



入口 誠議員

**問** 本町では、人口減少や少子高齢化が進んできている。「若者が住みやすく、子育てがしやすい町」に特化した政策ができないか。また、今以上に高齢者の割合が増えた時の健康づくりについての考えを伺う。

は考えられないか。国の交付税を利用し、日本語学校を運営し、町の活性化につなげた自治体もある。本町でも検討できないか。

**答** 今までも、紙おむつの費用助成やチャイルドシート購入費助成、子どもの医療費無料化、子育て支援商品券の発行などの支援策を実施しており、他の自治体と比べても充実した施策を講じている。また、高齢者に元気で長生きしてもらうため

の健康教室や介護予防事業も行ってきている。今後も人口減少を食い止める方策を考えていく。

海外留学生の受入れについては、本町に合うのかどうか、どういうふうな運営すべきなのか等を研究していく。時間を頂きたい。

## 2 森林環境譲与税の活用方策は 林業振興の課題解決に向けた取り組みを行う



施業が進む森林

**問** 今年度から交付されている森林環境譲与税は、美山支所建築や林産物集積ヤード整備等に使っているが、間伐等の直接的な森林整備に利用されていない。来年度以降の税の使い道について伺う。

税を活用した森林整備については、主に、経済ベースに乗らない森林に利用できるとされている。その場所・範囲は、町で決められるのか。

税の取り組み事例の中には、里山整備や針葉樹から広葉樹への転換を図る自治体もある。

## 1 有田養鶏の養鶏場の防災と衛生対策を早急に窮状を伝えて、強く進めるよう要望する



山本喜平議員

**問** 昨年末から有田養鶏農業協同組合が保有している弥谷と猪谷区の2カ所の養鶏場の運営が止まり、大量の

本町の考えはどうか。

**答** 来年度以降は、林業振興の課題解決に向けた取り組みを行う。森林整備を重点に置いてやっていく。

税の活用場所・範囲については、実際に現地を確認した上で、町の判断で進めていく。

里山を守り育て、次の世代に引き継いでいくことは、重要なことと認識している。また、針葉樹から広葉樹への転換や、危険木の排除等についても前向きに検討していく。



猪谷の鶏糞堆肥舎

鶏が死に、鶏糞が放置された状態となった。また、猪谷川沿いの鶏糞堆肥舎からの発火で、周辺の山林火災も心配されている。

弥谷、猪谷両区から町長に対して、鶏舎に堆積放置している死鶏、鶏糞の速やかな除去と消毒が求められ、猪谷区からは鶏糞堆肥舎の対策も求められている。町として県と協力し、

3月18日から始まる行政代執行により、ハエと腐敗臭の原因となつている鶏舎内の死鶏は除去される。作業日数は30日間と聞いている。

防災と衛生管理方針を示し、両区民の要求にこたえるべきだ。

**答** 町は、県や関係機関と共に、有田養鶏に強く改善を求めてきた。

**問** 町は、旧薬草試験場跡地を地域包括ケ

## 2 地域包括ケアシステム構築の見通しは 施設の開所は令和4年春頃を目標に

が気軽に集まれる場を設けて、とじこもり防

予防、認知症予防に力を入れて、近所の方々が気軽に集まれる場を設けて、とじこもり防

予防、認知症予防に力を入れて、近所の方々が気軽に集まれる場を設けて、とじこもり防

予防、認知症予防に力を入れて、近所の方々が気軽に集まれる場を設けて、とじこもり防

鶏糞堆肥舎では、有田養鶏の関係者が山林火災にならないよう作業をしている。

鶏舎内と鶏糞堆肥舎の鶏糞についても、県は法律に基づき、指導、命令を行ってきた。町から今の窮状を伝えて、強く進めるよう要望していく。

アシステム構築のため購入し、社会医療法人黎明会に貸し付けた。黎明会が整備する事業所の規模、建設日程、サービス内容について明らかにされた。

住民に説明する場を設定するのか。

**答** 建物は、木造平屋建て、建築面積が1149.5㎡、約348坪。本年末に建設を開始し、令和3年秋頃完成を予定している。施設の開所は、令和4年春頃を目標にしている。

この金額で給食費は

この金額で給食費は

この金額で給食費は

この金額で給食費は

## 3 子育て支援商品券事業を見直し、給食無償化に着手を 共同調理が軌道に乗れば、意見を聞いて考える

安全で安心な学校給食を提供することが最も

安全で安心な学校給食を提供することが最も

安全で安心な学校給食を提供することが最も

安全で安心な学校給食を提供することが最も

日本国憲法が定めている「義務教育の完全無償化」の取り組みとして、小中学校の給食を無償化すべきと考える。

本町は、県の第3子以降子育て支援サポート学校給食費等助成事業に該当しない、1人目、2人目の児童生徒に属する世帯を対象に、1人につき3万円分の子育て支援商品券を交付している。

この金額で給食費は

災害時の福祉避難所としても要望している。建設に着手する前に、地域の土生区への説明会を開催すると聞いている。

町は、県や関係機関と共に、有田養鶏に強く改善を求めてきた。